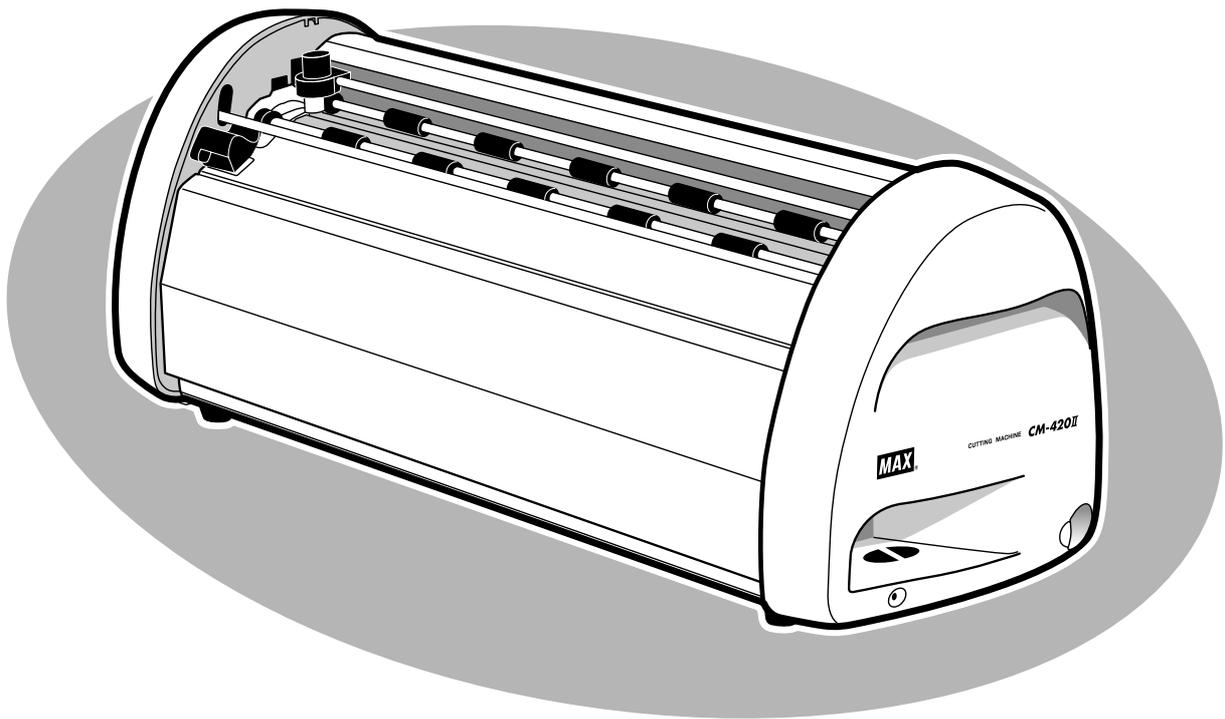


CM-420II

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

必ずお読み下さい

はじめに

この度は、CM-420Ⅱをご購入いただき、誠にありがとうございます。本機種は、切り文字で看板やウィンドウディスプレイなどの表示物を、どなたでも簡単に作れるカッティングマシンです。ご自分で思いのままに創る表示物で、タイムリーで手軽な情報発信にお役立てください。なお、未永くご愛用いただくため、この取扱説明書に従ってお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しくお取り扱い下さい。

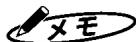
■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

	「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。
	「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

必ずお読み下さい

ご使用上の注意

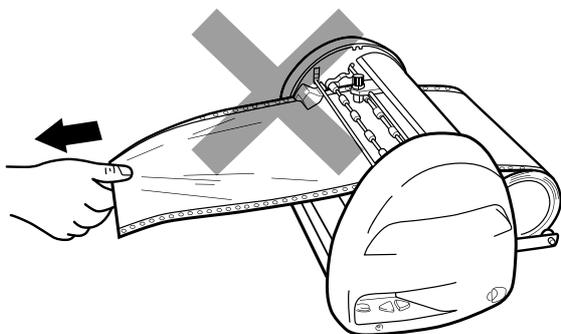
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 ・本機の内部に、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ・表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ・水、薬品などが機械にかからないようにしてください。 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 ・紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 ・本体付属のACコード以外のACコードで使用しないでください。本機が故障したり、火災の原因になります。 ・ACコードを抜くときは、コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
 	<ul style="list-style-type: none"> ・故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・カuttingツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・動作中はカuttingヘッド部に顔を近づけないでください。けがの原因となります。 ・カッタ部、スプロケット部など稼働部に指を入れしないでください。けがの原因となります。 ・本体は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因となります。 ・大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。 ・直射日光の当たる場所で使用しないでください。誤作動の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・カuttingツール（替え刃）の交換時、シートの装着脱時には、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ・替え刃の刃先は非常に鋭利ですので充分ご注意ください。カuttingツール（替え刃）の先端部は、けがをする恐れがありますのでさわらぬようご注意ください。

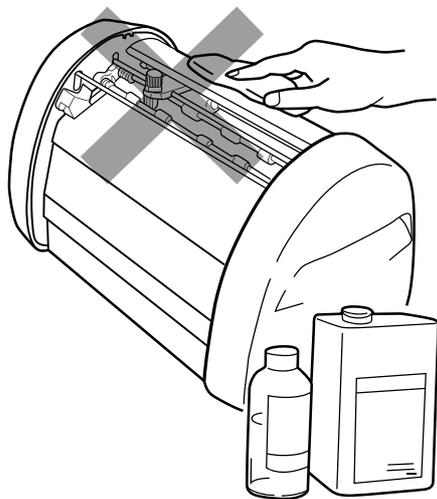
ご使用上のお願い

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

1. 電源が入っているときに、シートをセットした状態で強く引っ張らないでください。

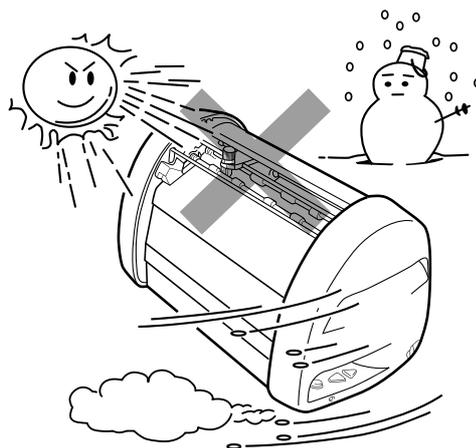


2. 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布でふいてください。有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

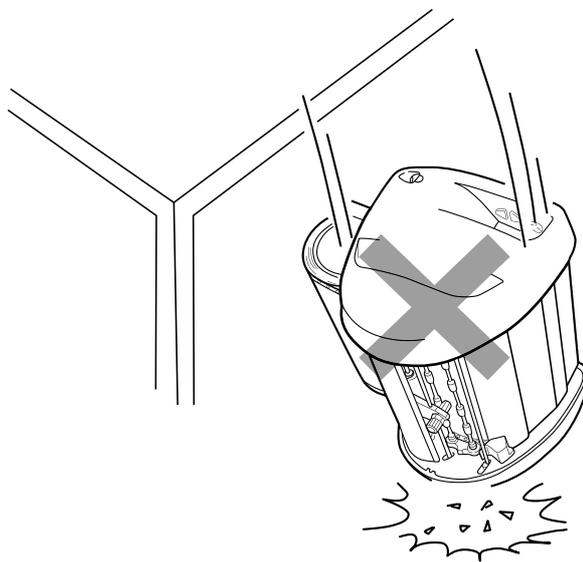


3. トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管しないでください。
 1. 直射日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
 2. ほこりや湿度の多い場所
 3. 振動や衝撃の加わる場所

4. 温度が10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
5. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



4. 落としたり、ぶついたりして、強いショックを与えないでください。



5. 消耗品（粘着シート、アプリケーションシート、替え刃）、は専用のものをお使いください。その他のものは使わないでください。その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、カットできない場合があります。

目次

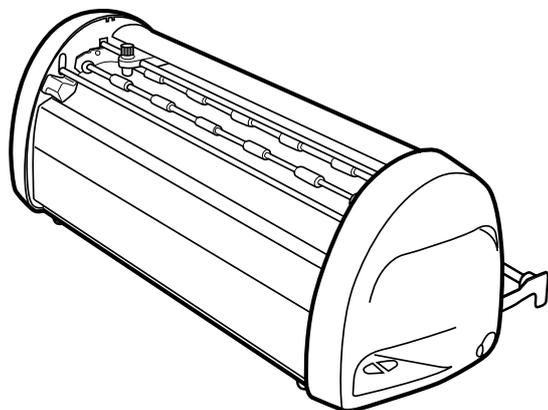
必ずお読みください	I
はじめに	I
ご使用上の注意	I
ご使用上のお願い	III
目次	IV
第1章 お使いになる前に	1
1.1 同梱品をご確認ください	1
1.2 本体各部の名前とはたらき	2
第2章 シートやカッティングツールの取扱い	3
2.1 シートをセットする	3
2.2 カッティングツールをセット（交換）する	4
2.3 カット圧を調整する	5
2.4 オフセット値と高画質モードを設定する	6
2.4.1 カッタのオフセット設定	6
2.4.2 高画質モード設定	6
2.5 カットした文字の処理	7
2.5.1 カス取り	7
2.5.2 転写	7
2.5.3 文字の貼付け	8
第3章 コンピュータとの接続	10
3.1 インターフェースケーブルを用意する	10
3.2 インターフェースケーブルを接続する	10
第4章 電源の入れ方	11
4.1 電源を入れる	11
第5章 シートの残量確認	12
5.1 シートの残量を確認する	12
第6章 こんなときは	13
6.1 エラー表示と対処方法	13
6.2 故障かなと思う前に	13
付録	
1. 商品仕様	付1
2. 標準でご用意しているシート	付1
3. 別売品：替刃	付1
4. 保証書／保守サービス	付1

第1章 お使いになる前に

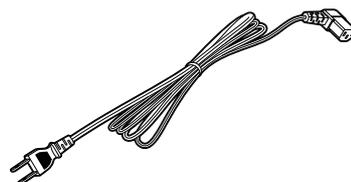
1.1 同梱品をご確認ください

箱を開けて、下記の商品がすべて揃っていることを確認してください。

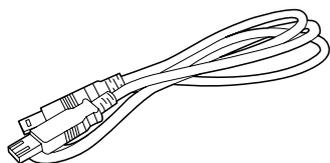
① カuttingマシン 本体



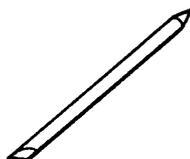
② ACコード



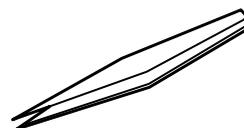
③ USBケーブル



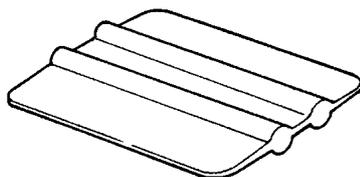
④ Cuttingツール (1本)



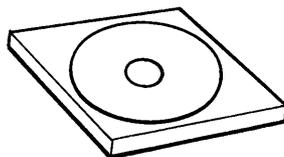
⑤ ピンセット



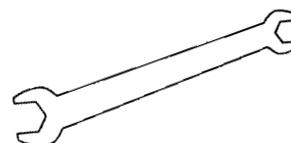
⑥ スキージ



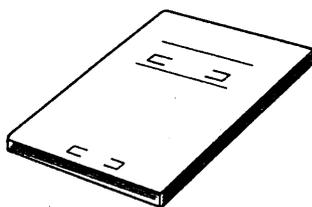
⑦ PCソフトウェア (CD-ROM)



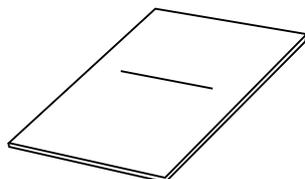
⑧ スパナ



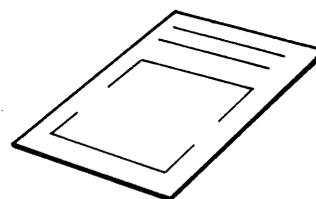
⑨ 取扱説明書 (本書)



⑩ インストールマニュアル

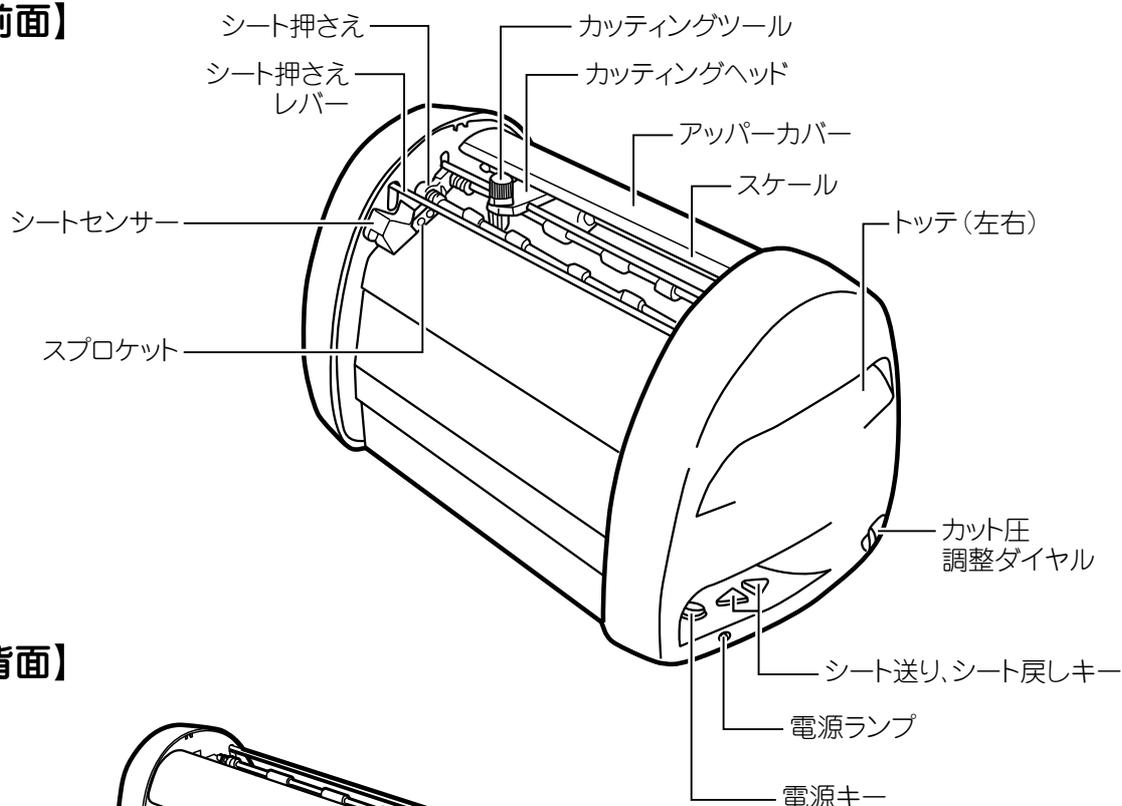


⑪ 保証書兼お客様登録カード

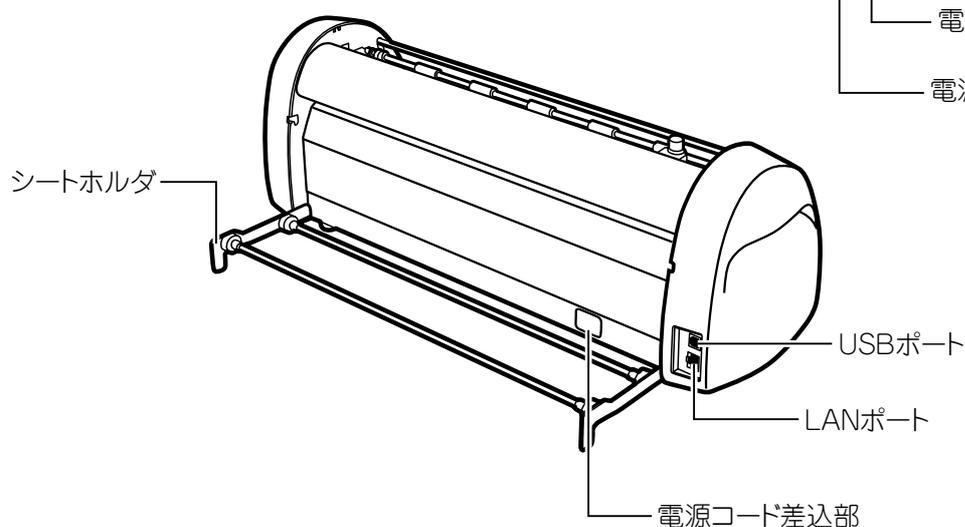


1.2 本体各部の名前とはたらき

【本体前面】



【本体背面】



【キーの主な機能】

電源キー：電源の入切をするキーです。

シート送り、シート戻しキー：シートを移動させることができます。

【LED表示灯】

電源ランプ：電源スイッチがONの時緑色で点灯します。

エラー状態を知らせる時赤色で点灯または点滅します。



☆エラー状態の詳細については、第6章13ページを参照ください。

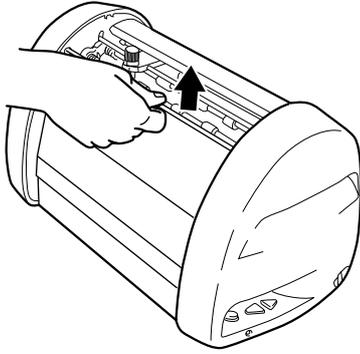
第2章 シートやカッティングツールの取り扱い

2.1 シートをセットする

CM-420IIにシートをセットする

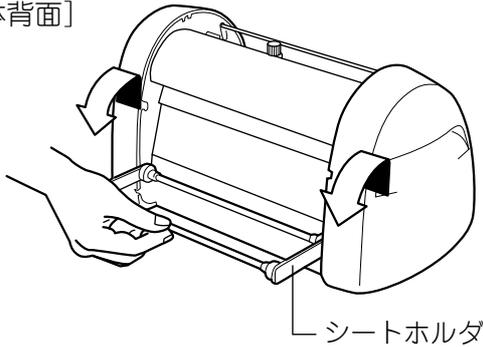
1. シート押さえレバーを引き上げます。

[本体前面]

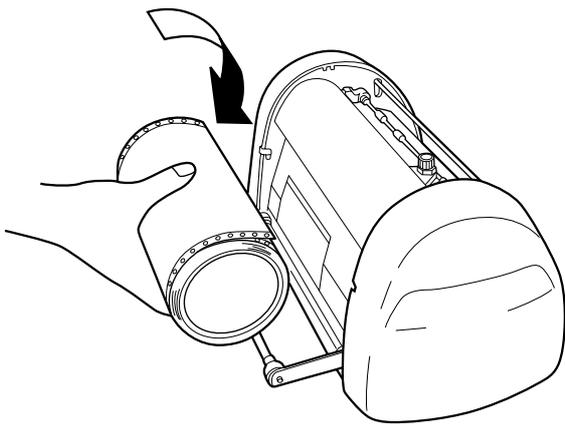


2. シートホルダを水平になるようにたおします。(軽く上に持ち上げて手前に引きたおす)

[本体背面]

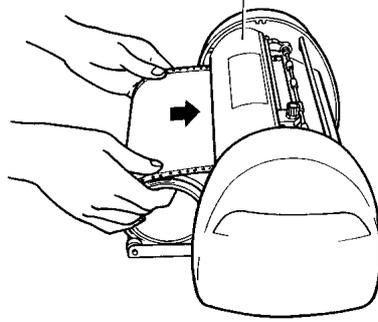


3. シートをシートホルダにのせます。



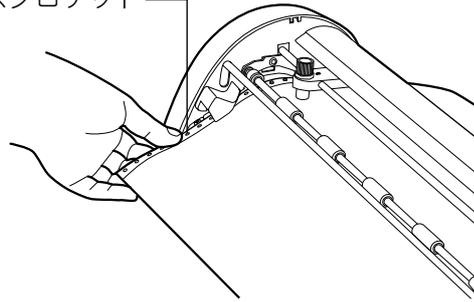
4. シートをアッパーカバーの下に通します。

アッパーカバー

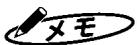
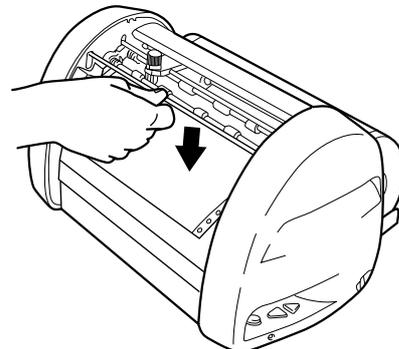


5. シートを前方に引き出し、シートセンサーの下を通した後、左右のスプロケットのピンとシートの穴を合わせます。

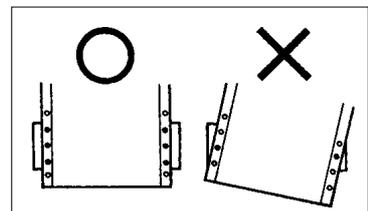
スプロケット



6. シート押さえレバーを下げてシートをおさえます。
※左右ともシート押さえが下がっていることを確認してください。

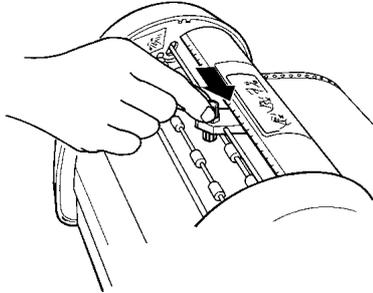


☆ピンは確実にシートの穴に入れてください。また、シートの穴が左右でずれて斜めに装着しないように注意してください。シートの穴にピンが入っていなかったり、ずれていたりするとシートが正しく送られません。

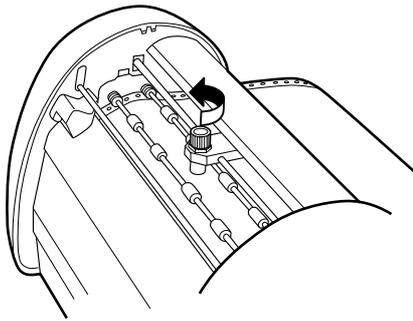


2.2 カッティングツールをセット (交換) する

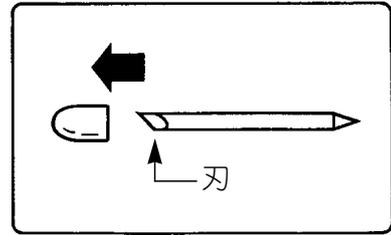
1. 電源OFF後、カッティングヘッドを中央に手で移動させます。



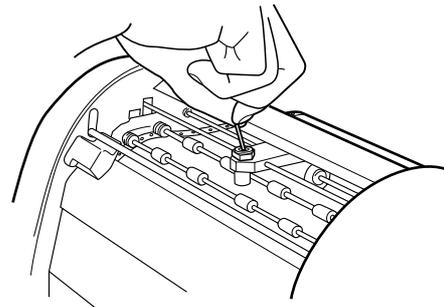
2. カッティングヘッドについているツールホルダのキャップ (上部) を反時計方向に回し取り外します。



3. 新しいカッティングツール (替え刃) を用意し、保護キャップをはずします。



4. 刃先 (保護キャップがついていた側) を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは古いカッティングツールを先に抜き取ります。



5. ホルダキャップをしめます。キャップをしっかりしめると刃先が適切な出量になります。

お願い

☆カッティングツールを差し込むときは、押し込まないように注意してください。押し込んで装着すると刃先が出過ぎてしまい、シートを傷つけたりカッティング不良を引き起こしたりします。また、カッティングツールの寿命を早めます。

☆カッティングツールは慎重に交換してください。誤って本体内部に入ってしまった場合は、最寄りの当社営業所またはマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)窓口へご相談ください。

警告



カッティングツール (替え刃) は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意



カッティングツール (替え刃) の装着脱時は、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したときに、けがの原因になります。



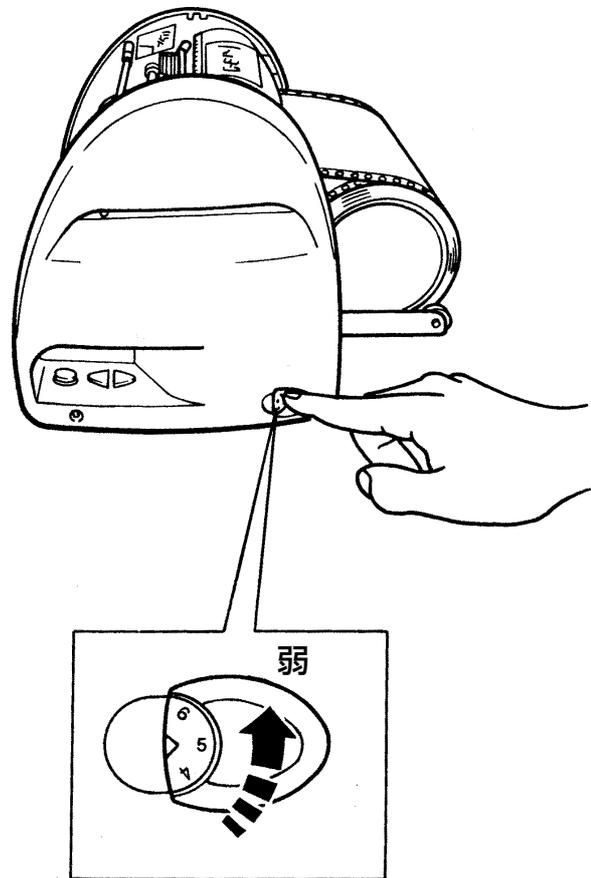
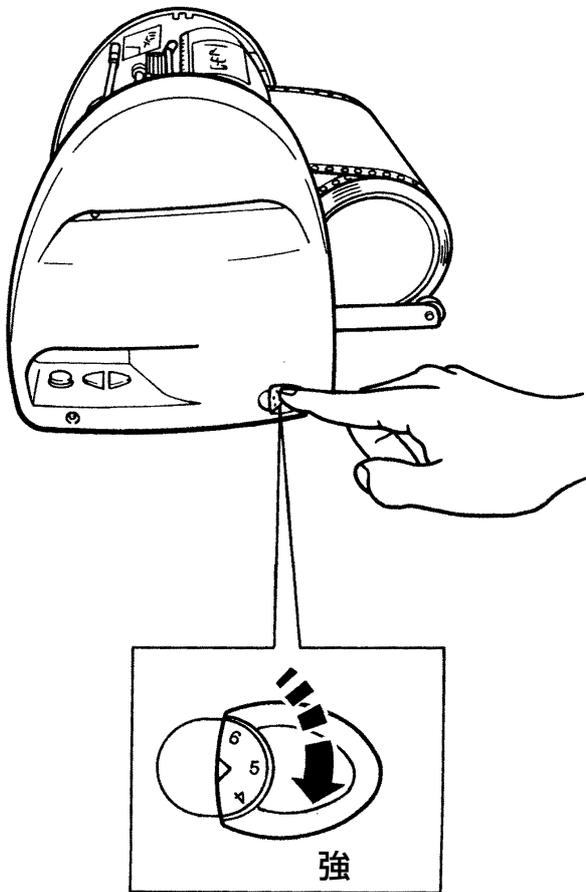
カッティングツール (替え刃) 先端部は、けがをする恐れがありますので触らないでください。

2.3 カット圧を調整する

刃先の圧力（カット圧）を変えることで、切り込みの深さを調整します。工場出荷時は常温（15℃～25℃）で通常シートを使用したときに適正な位置にダイヤルを調整してあります。シートの種類、気温等により切れすぎたり、切れなかったりしますのでご使用前に試し切りされることをお勧めします。

剥離紙に少し跡がつく程度が適正なカット圧です。

1. シートが切れておらず、うまくはがれない場合は、カット圧が弱い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ大きな値にしてシートを切れるように調整してください。
2. 剥離紙まで切ってしまう（剥離紙の裏まで切れている）場合は、カット圧が強い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ小さな値にして剥離紙を切らないように調整してください。



☆カット圧が強いまま使用し続けるとカッティングツールの寿命を早めます。

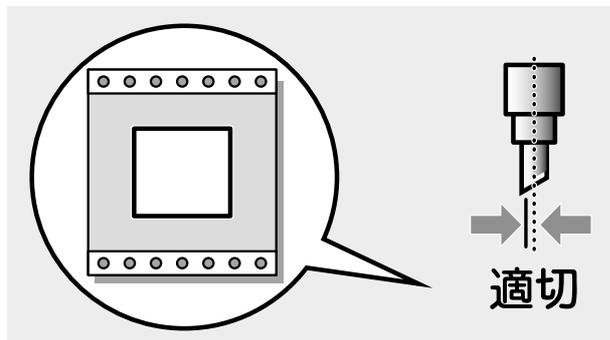
2.4 オフセット値と高画質モードを設定する

2.4.1 カッタのオフセット設定

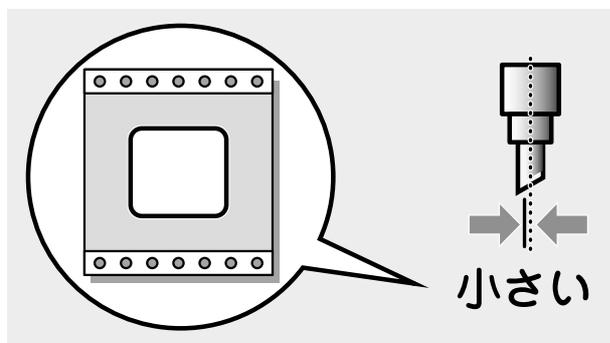
カッティング文字の角の部分がきれいにカットできない場合、オフセット値を変更します。オフセット値は、0.150～0.600mmの範囲で0.025mmずつの設定が可能です。

1. 「書家の筆」入力画面で「ファイル」－「印刷」を選びます。
2. 印刷ダイアログ画面で、「プロパティ」をクリックします。
3. 「出力設定」－「カッタのオフセット設定」をクリックします。
4. 設定値を変更し、[OK] をクリックします。

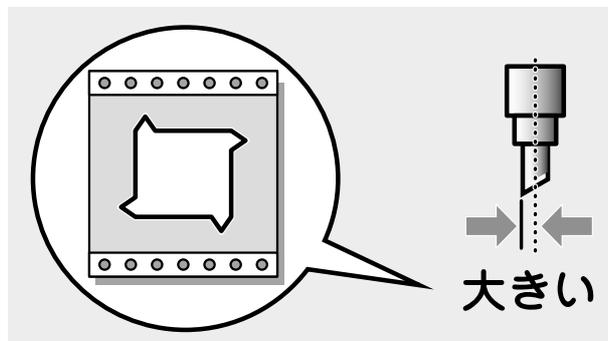
■適切なオフセット値を設定すると、下図のようにカッティングされます。



■オフセット値を小さくすると、下図のようにカッティング文字の角の部分が丸みを帯びるようにカッティングされます。



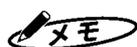
■オフセット値を大きくすると、下図のようにカッティング文字の角の部分が丸みを帯びるようにカッティングされます。



2.4.2 高画質モード設定

刃先の消耗度合い、シートの種類、気温等により、カット品質が荒くなる場合があります。その場合には、高画質モードの「中速」「低速」いずれかを選択し、カット速度を落とすことで改善されます。

1. 「書家の筆」入力画面で「ファイル」－「印刷」を選びます。
2. 印刷ダイアログ画面で、「プロパティ」をクリックします。
3. 「出力設定」から高画質モードの「中速」「低速」いずれかを選択します。



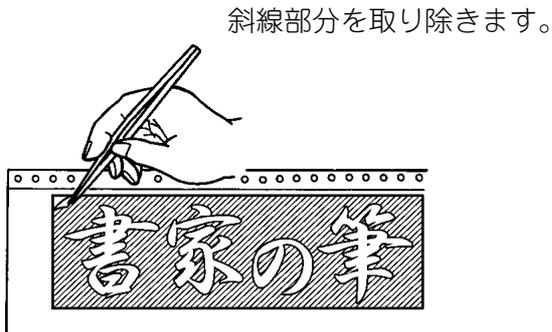
☆設定したオフセット値を次回以降の出力にも活かしたい場合は、「コントロールパネル」－「プリンタ」－（CM-420 II のプロパティ）を開いて設定してください。

2.5 カットした文字の処理

2.5.1 カス取り

文字のカットが終了したら、転写できるようにするために次のような手順で作業を行います。

1. 文字をカットしたら、文字に必要なない部分の取り除き作業を行います。この作業は、シートを送り出し、ロール状のシートから切り離してください。

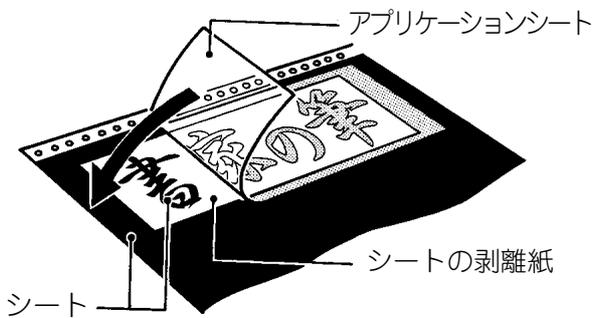


不要な部分の取り除き作業は、付属のピンセットや市販のカッターをお使いください。

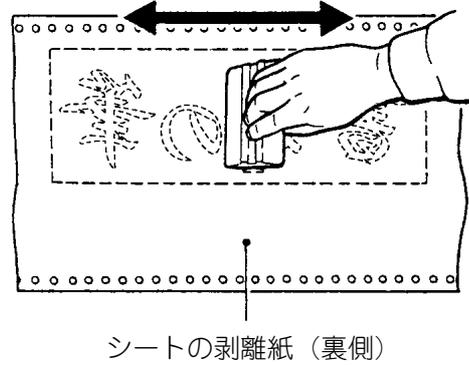
2.5.2 転写

カットした内容のレイアウトのまま貼り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

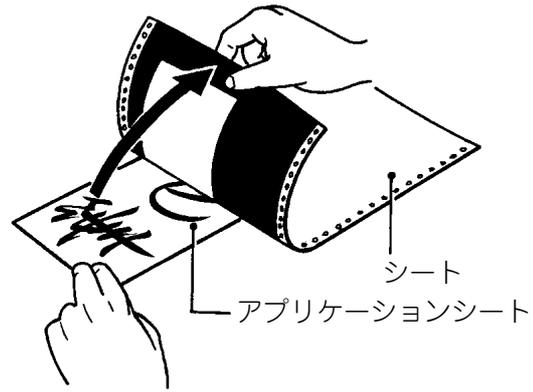
1. アプリケーションシートを適当な大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）に切ります。アプリケーションシートを剥離紙からはがし、カットした文字の上にしわにならないように貼り付けます。



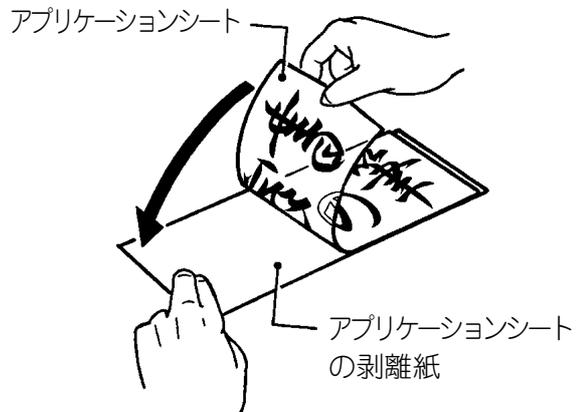
2. アプリケーションシートの上から擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの剥離紙側から擦ってください。



3. アプリケーションシートを下にしてシートの剥離紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



4. そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの剥離紙の上に乗せ、貼り合わせます。



☆文字の中の部分から取り除くと作業が行いやすいです。

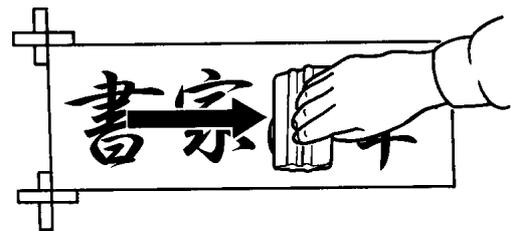
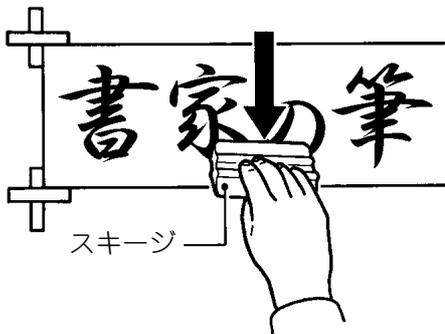
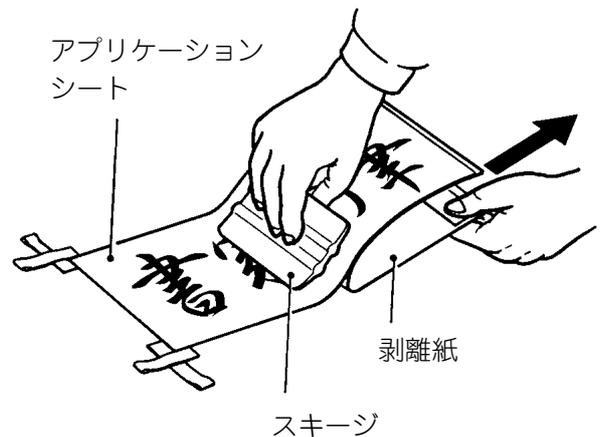
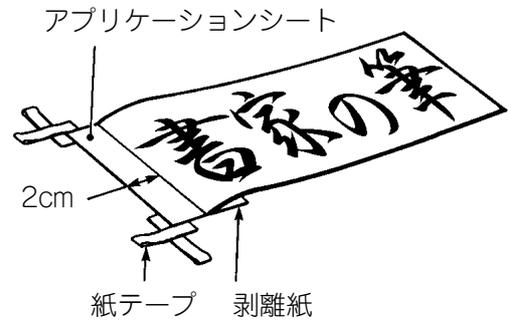
☆アプリケーションシートの剥離紙は再度使いますので、捨てないでください。

2.5.3 文字の貼付け

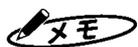
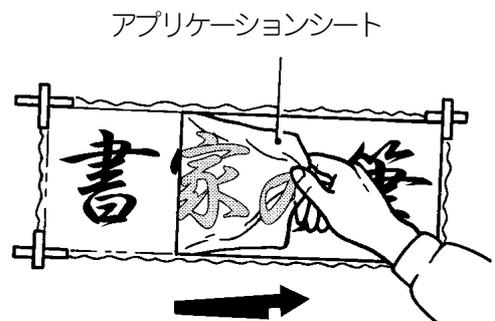
貼り付けるときの注意点は、位置合わせ、気泡の混入、シートの伸び防止（一度伸びると元に戻らない）の3点です。貼り付け方は文字の大小、面積・長さによって、ドライ方式とウェット方式を使い分けることをおすすめします。

[ドライ方式（長さ50cm以下のとき）]

1. 剥離紙を付けたまま、貼り付ける場所に位置合わせし、紙テープで印をつけます。
2. 一端2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。
3. はがした2cmのアPLICATIONシートを紙テープの印に合わせて貼り付けます。
4. はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。
5. スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



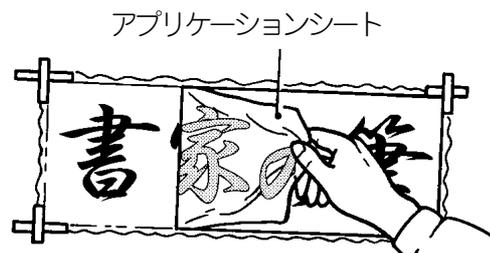
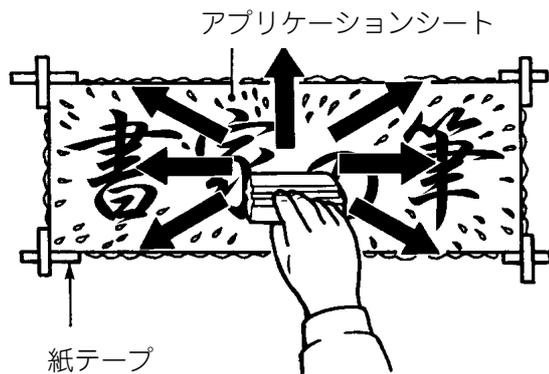
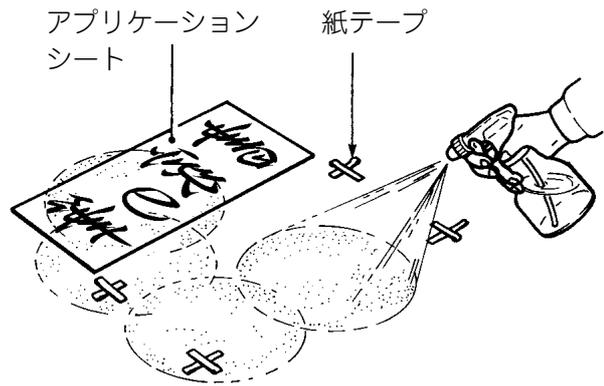
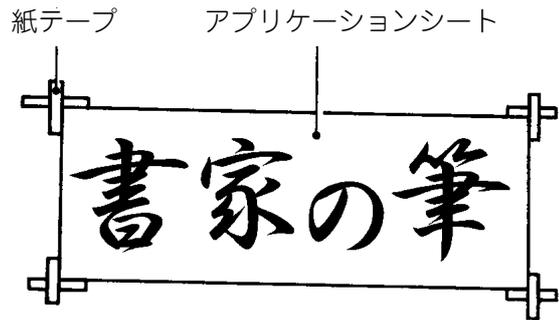
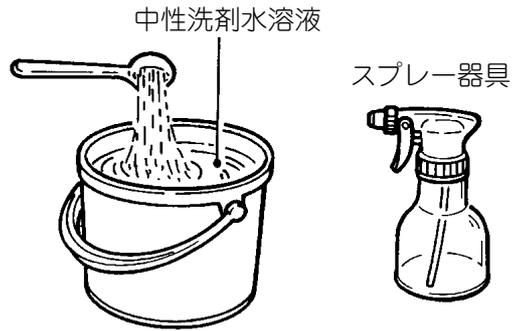
6. APPLICATIONシートを180度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。



☆ 貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡を潰し中の空気押し出して圧着してください。

[ウェット方式 (長さ50cm以上のとき)]

1. 家庭用中性洗剤を4リットルの水にスプーン1~2杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液をつくります。
2. 作った中性洗剤水溶液をスプレー器具に入れてください。
3. 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置合わせをして紙テープで印をつけます。
4. 被着面と、アプリケーションシートの剥離紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。
5. アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認します。
6. スキージを中心から端に向かってこすり、中性洗剤水溶液を押し出し、圧着してください。
7. アプリケーションシートを180度の角度で、ゆっくりと注意深くはがしてください。

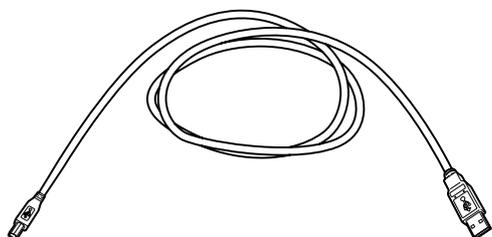


第3章 コンピュータとの接続

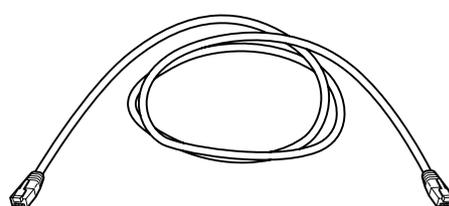
本機はUSBポートを装備したコンピュータ及びLANポートを装備したコンピュータに接続できます。

3.1 インターフェースケーブルを用意する

USBケーブル

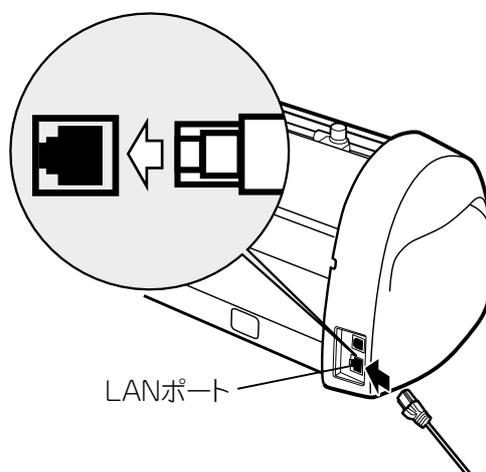
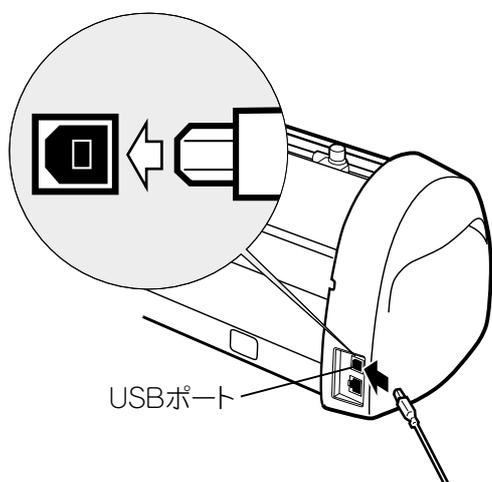


LANケーブル



3.2 インターフェースケーブルを接続する

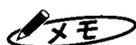
1. コンピュータ側に「書家の筆」(入カソフト) 及びプリンタドライバが、すでにインストールされていることを確認してください。
インストールされていない場合や、LANケーブル使用時の本体のIPアドレス設定については、別冊の『インストールマニュアル』に従ってインストールを行なってください。
2. 本体背面にあるコネクタと各インターフェースケーブルで接続します。



3. もう一方のインターフェースケーブルをコンピュータ側のコネクタとで接続します。
※コンピュータへのインターフェースケーブル接続については、コンピュータの取扱説明書をお読みください。

お願い

☆カuttingマシンにUSB及びLAN両方のケーブルを同時に接続してのご使用は避けてください。
本体の故障の原因となるおそれがあります。

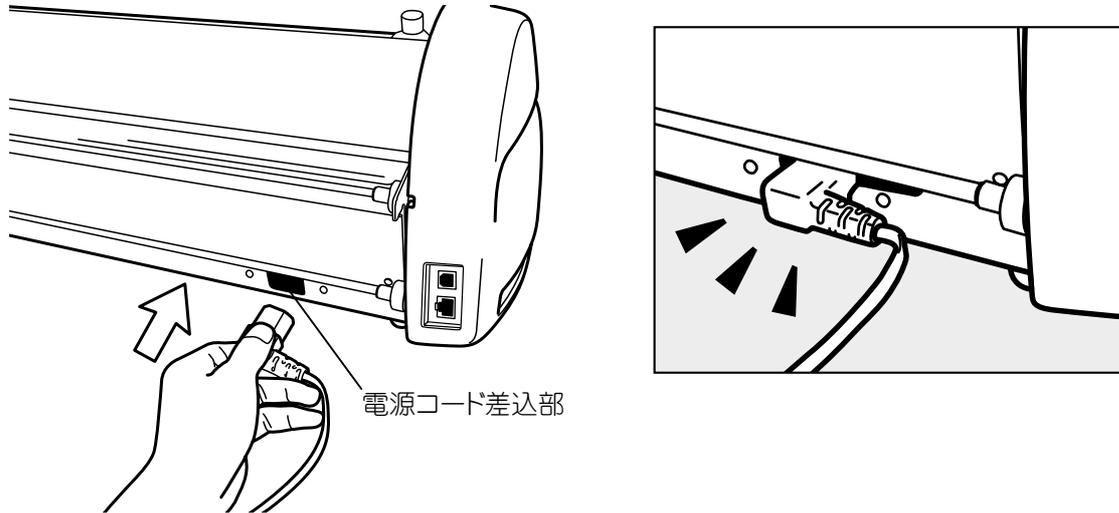


☆ USB接続で、USBハブを使用すると正常に動作しない場合があります。その場合にはUSBケーブルを直接コンピュータ本体のUSBコネクタに接続しておためしください。

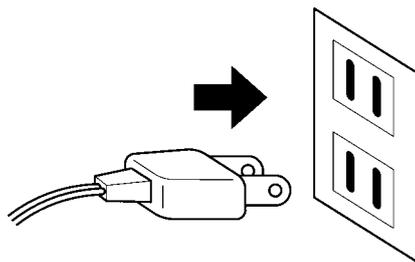
第4章 電源の入れ方

4.1 電源を入れる

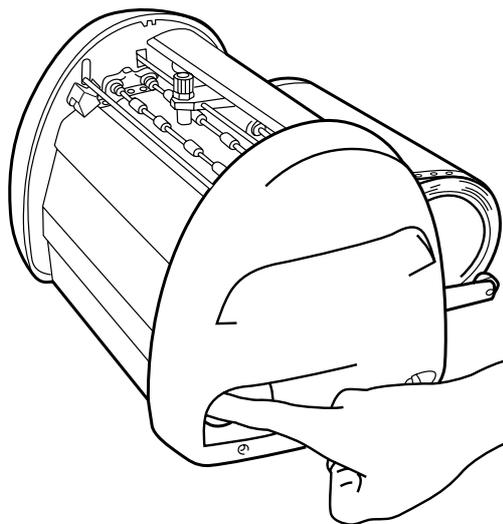
1. 電源コードを本体の電源コード差込部にしっかりと差し込みます。



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



3. 本体の電源キーを押します。電源をONにすると、緑色の電源ランプが点灯します。



お願い

☆電源コードの抜き差しは、必ず電源OFFの状態で行なって下さい。電源ONの状態での抜き差しをすると、故障の原因となります。

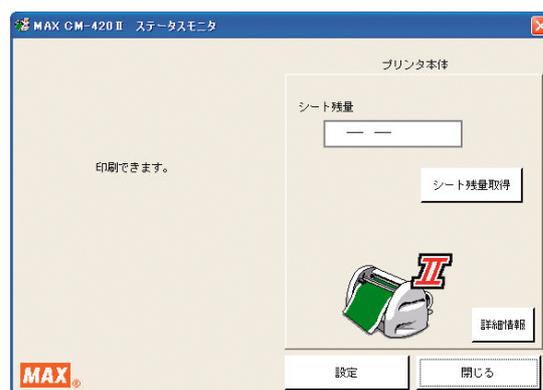
第5章 シートの残量確認

5.1 シートの残量を確認する

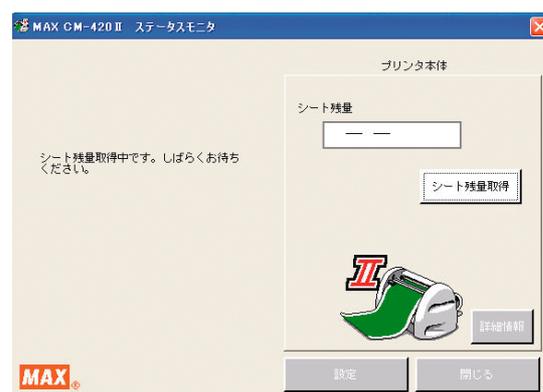
CM-420 II のステータスマニタ上で、本体にセットされたシートの残量を確認することができます。出力する長さに対しシートが足りるかどうかをあらかじめ確認したり、シートの補充や管理に活用でき便利です。

また、あらかじめ残量確認をせず出力を開始した場合でも、自動で残量を検知し、シートが足りない場合にはカッティング開始前に動作を停止します。

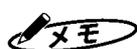
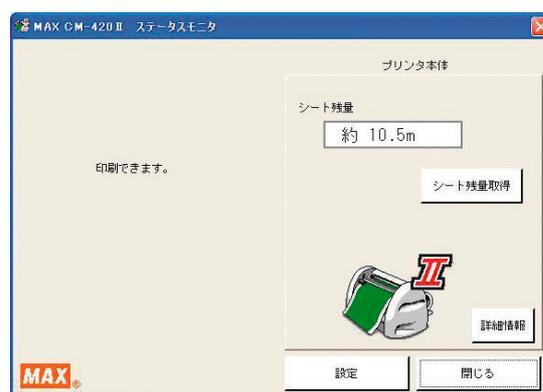
1. パソコン画面右下の  アイコンをダブルクリックしステータスマニタを表示させます。



2. 「シート残量取得」ボタンをクリックします。シート送り動作を行い残量を取得します。



3. おおよそのシート残量が表示されます。



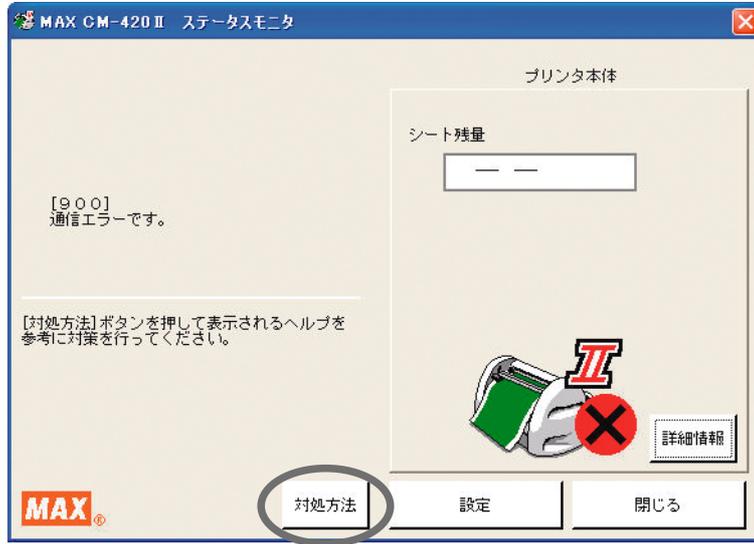
☆シートの残量は、残りメーター数とセットの状態により、15~30cm程度実際の長さとは異なって表示される場合があります。また、ロールから切り離れたシートは正しく残量が表示されません。

☆必ずCM-420 IIに対応した専用シートをご使用ください。

第6章 こんなときは

6.1 エラー表示と対処方法

CM-420 IIは、エラー発生時、ステータスモニタ上にエラーの内容を表示します。対処方法のボタンをクリックし、表示された方法にしたがって対応してください。



6.2 故障かなと思う前に

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。	11
シートが切れない。	刃先にシートの切りカスが付着していませんか。	電源を切り、電源コードを抜いてから、刃先に付着したシートの切りカスを取り除いてください。	4
	カット圧調整ダイヤルを確認ください。	刃先の圧力を調整するカット圧調整ダイヤルを1つずつ大きな値にしてカットし、適切なカットができるよう調整してください。	5
	刃先の摩耗が考えられます。刃（カッティングツール）の寿命は、カット距離で約3,000mです。	電源を切り、電源コンセントを抜き、刃（カッティングツール）の交換を行ってください。	4
刃（カッティングツール）交換直後から、シートにキズをつけるようになった。	刃（カッティングツール）の交換時に、刃先を押し込みませんでしたか。	刃（カッティングツール）の装着は、軽く差し込むだけで十分です。電源を切り、電源コンセントを抜いて、再度セットし直してください。	4
カットした文字の角の部分丸みを帯びる。	刃先が摩耗していませんか。または、欠けていませんか。	電源を切り、電源コンセントを抜いて、新しい刃（カッティングツール）に交換してください。	4
パソコンと接続してもカットできない。	お使いのパソコンのOSは、対応OSに入っていますか。	当社ホームページなどで対応OSを確認して下さい。	インストールマニュアル参照
	本機の電源はONになっていますか。	本機の電源をONにして下さい。なお、本機の動作には同梱の電源コードが必要です。	11
本体LEDランプが「緑」以外の色で点灯または点滅している。	パソコンのステータスモニタ上にエラーが表示されていませんか。	対応方法をクリックし、表示された方法にしたがって対応してください。	13

付録

1. 商品仕様

商 品 名	CM-420 II
カッティング速度	軸方向：500mm/秒 最大(45度方向)：700mm/秒
最大出力範囲	420×3000mm
分解能	0.025mm/step
インターフェース	USB：USB 2.0 (Full Speed) LAN：10BASE-T/100BASE-TX
使用環境	温度：10～35℃ 湿度：35～80% (ただし結露しないこと)
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	動作時 24W 待機時 7W
外形寸法	W626×D200×H218mm
質量 (本体のみ)	6.4kg

2. 標準でご用意しているシート

商品名	品番	シート色	商品仕様
CM-B451N クロ	GP90024	黒	20m×1巻入
CM-B452N アカ	GP90026	赤	
CM-B453N アオ	GP90027	青	
CM-B454N ミドリ	GP90029	緑	
CM-B455N キイロ	GP90028	黄	
CM-B456N シロ	GP90025	白	
SL-S450AP	IL99609	アプリケーションシート	

※必ずCM-420 IIに対応した専用シートをご使用ください。

3. 別売品：替刃 (2本入)

品番：IL99510 商品名：CM-100CC

4. 保証書／保守サービス

【保証書について】

- *保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無料修理いたします。くわしくは同梱の保証書をご覧ください。
- *保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。

【保守サービスについて】

- *お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にご相談ください。
- *持ち込み修理：修理品を販売店、又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)の窓口にお持ち込みください。

使い方のお問い合わせ

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：0120-510-200

携帯電話からは：03-3669-6786

[月～金曜日(祝祭日、当社休業日除く) 午前9時～午後6時]

※通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

修理のお問い合わせ

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8108(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2140(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL(052)918-8620(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

東京サービスステーション	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)548-5332(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)



●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。